２．調書・集計表の作成要領

２.調書・集計表の作成要領

（１）調書・集計表 一覧

本一覧は、GISデータ定義書と同じ番号順にCSVの種類、様式名、ファイル名及び集計単位を示す。
「CSVなし」の項目は調書・集計表を作成しない。
ファイル名欄の「〇〇」は作成年度、「■■」は自治体名（又は都市計画区域名）に置き換える。
全48調査項目：CSVあり44項目（85様式）、CSVなし4項目。

調査項目	調査項目名	区分	様式名	実データのファイル名	集計単位
0-01	市街地区分図	CSVなし	—	作成しない	—
0-02	地区区分図（ゾーン別）	CSVなし	—	作成しない	—
0-03	地区概要調書（ゾーン別）	調書1	地区概要調書（ゾーン別）	c0003_report_1_〇〇-■■.csv	ゾーン単位
0-04	地区別人口世帯調書（ゾーン別）	調書1	地区別人口世帯調書（ゾーン別）	c0004_report_1_〇〇-■■.csv	ゾーン単位
1-01	人口規模	調書1	小地域別人口規模調書	c0101_report_1_〇〇-■■.csv	小地域
		調書2	メッシュ単位人口規模調書	c0101_report_2_〇〇-■■.csv	メッシュ
		集計1	人口規模集計表	c0101_sum_1_〇〇-■■.csv	区域単位
1-02	ＤＩＤ	調書1	DID調書	c0102_report_1_〇〇-■■.csv	ゾーン単位
1-03	将来人口	集計1	将来人口集計表	c0103_sum_1_〇〇-■■.csv	年齢区分別
1-04	人口増減	集計1	人口増減集計表	c0104_sum_1_〇〇-■■.csv	要因別
1-05	通勤・通学移動	集計1	通勤・通学移動集計表	c0105_sum_1_〇〇-■■.csv	—
1-06	昼間人口	調書1	小地域別昼間人口調書	c0106_report_1_〇〇-■■.csv	小地域
		調書2	メッシュ単位昼間人口調書	c0106_report_2_〇〇-■■.csv	メッシュ
		集計1	昼間人口集計表	c0106_sum_1_〇〇-■■.csv	区域単位
2-01	産業・職業分類別就業者数	集計1	常住地別産業分類別就業者数集計表	c0201_sum_1_〇〇-■■.csv	常住地・産業分類
		集計2	従業地別産業分類別就業者数集計表	c0201_sum_2_〇〇-■■.csv	従業地・産業分類
		集計3	常住地別職業分類別就業者数集計表	c0201_sum_3_〇〇-■■.csv	常住地・職業分類
		集計4	従業地別職業分類別就業者数集計表	c0201_sum_4_〇〇-■■.csv	従業地・職業分類
2-02	事業所数・従業者数・売上金額	調書1	小地域別産業別事業所数・従業者数・売上金額調書	c0202_report_1_〇〇-■■.csv	小地域
		調書2	メッシュ単位産業別事業所数・従業者数・売上金額調書	c0202_report_2_〇〇-■■.csv	メッシュ
		集計1	産業分類別事業所数集計表	c0202_sum_1_〇〇-■■.csv	事業所
		集計2	産業分類別従業者数集計表	c0202_sum_2_〇〇-■■.csv	従業者数
		集計3	産業分類別小売販売額集計表	c0202_sum_3_〇〇-■■.csv	小売販売額
		集計4	産業分類別製造品出荷額集計表	c0202_sum_4_〇〇-■■.csv	製造品出荷額
3-01	区域区分の状況	調書1	区域区分の状況調書	c0301_report_1_〇〇-■■.csv	区域単位
3-02	土地利用現況	調書1	地区別土地利用調書（ゾーン別）	c0302_report_1_〇〇-■■.csv	ゾーン単位
		集計1	小地域別土地利用現況集計表	c0302_sum_1_〇〇-■■.csv	小地域
		集計2	区域別土地利用現況集計表	c0302_sum_2_〇〇-■■.csv	区域
3-03	国公有地の状況	調書1	国公有地の状況調書	c0303_report_1_〇〇-■■.csv	個別

調査項目	調査項目名	区分	様式名	実データのファイル名	集計単位
3-04	宅地開発状況	調書1	市街地開発事業等による宅地開発状況調書	c0304_report_1_〇〇-■■.csv	市街地開発事業等
		調書2	開発許可による宅地開発状況調書	c0304_report_2_〇〇-■■.csv	開発許可による開発
		集計1	宅地開発状況集計表	c0304_sum_1_〇〇-■■.csv	区域単位
3-05	農地転用状況	調書1	農地転用状況調書	c0305_report_1_〇〇-■■.csv	個別
		集計1	農地転用状況集計表	c0305_sum_1_〇〇-■■.csv	区域単位
3-06	林地転用状況	調書1	林地転用状況調書	c0306_report_1_〇〇-■■.csv	個別
		集計1	林地転用状況集計表	c0306_sum_1_〇〇-■■.csv	区域単位
3-07	新築動向	調書1	新築動向調書	c0307_report_1_〇〇-■■.csv	個別
		集計1	新築動向集計表	c0307_sum_1_〇〇-■■.csv	区域単位
3-08	条例・協定	調書1	条例・協定	c0308_report_1_〇〇-■■.csv	個別
3-09	農林漁業関係施策適用状況	調書1	農林漁業関係施策適用状況	c0309_report_1_〇〇-■■.csv	個別
4-01-1	建物利用現況（用途）	調書1	建物利用現況調書	c0401_report_1_〇〇-■■.csv	個別
		集計1	小地域別用途別建物利用現況集計表	c0401_sum_1_〇〇-■■.csv	小地域
		集計2	区域別用途別建物利用現況集計表	c0401_sum_2_〇〇-■■.csv	区域
		集計3	小地域別用途別建物利用現況集計表（建築面積）	c0401_sum_3_〇〇-■■.csv	小地域
		集計4	小地域別用途別建物利用現況集計表（延床面積）	c0401_sum_4_〇〇-■■.csv	小地域
4-01-2	建物利用現況（階数）	集計1	小地域別階数別建物利用現況集計表	c0401_sum_5_〇〇-■■.csv	小地域
		集計2	区域別階数別建物利用現況集計表	c0401_sum_6_〇〇-■■.csv	区域
4-01-3	建物利用現況（構造）	集計1	小地域別構造別建物利用現況集計表	c0401_sum_7_〇〇-■■.csv	小地域
		集計2	区域別構造別建物利用現況集計表	c0401_sum_8_〇〇-■■.csv	区域
4-01-4	建物利用現況（面積）	集計1	小地域別建築面積別建物利用現況集計表	c0401_sum_9_〇〇-■■.csv	小地域
		集計2	区域別建築面積別建物利用現況集計表	c0401_sum_10_〇〇-■■.csv	区域
		集計3	小地域別延床面積別建物利用現況集計表	c0401_sum_11_〇〇-■■.csv	小地域
		集計4	区域別延床面積別建物利用現況集計表	c0401_sum_12_〇〇-■■.csv	区域
4-01-5	建物利用現況（建築年）	集計1	小地域別建築年別建物利用現況集計表	c0401_sum_13_〇〇-■■.csv	小地域
		集計2	区域別建築年別建物利用現況集計表	c0401_sum_14_〇〇-■■.csv	区域
		集計3	小地域別建築年別建物利用現況集計表（建築面積）	c0401_sum_15_〇〇-■■.csv	小地域
		集計4	小地域別建築年別建物利用現況集計表（延床面積）	c0401_sum_16_〇〇-■■.csv	小地域
4-01-6	建物利用現況（耐火構造種別）	集計1	小地域別耐火構造別建物利用現況集計表	c0401_sum_17_〇〇-■■.csv	小地域
		集計2	区域別耐火構造別建物利用現況集計表	c0401_sum_18_〇〇-■■.csv	区域

調査項目	調査項目名	区分	様式名	実データのファイル名	集計単位
4-01-7	建物利用現況（高さ）	集計1	小地域別高さ別建物利用現況集計表	c0401_sum_19_〇〇-■■.csv	小地域
		集計2	区域別高さ別建物利用現況集計表	c0401_sum_20_〇〇-■■.csv	区域
4-02	大規模小売店舗等の立地状況	調書1	大規模小売店舗等の立地状況調書	c0402_report_1_〇〇-■■.csv	個別
4-03	住宅の所有関係別・建て方別世帯数	集計1	住宅の所有関係別世帯数集計表	c0403_sum_1_〇〇-■■.csv	住宅の所有関係
		集計2	住宅の建て方別世帯数集計表	c0403_sum_2_〇〇-■■.csv	住宅の建て方
4-04	公共公益施設等分布状況	調書1	公共公益施設等分布状況	c0404_report_1_〇〇-■■.csv	個別
5-01	都市施設の位置、内容等	調書1	都市施設の位置・内容等調書	c0501_report_1_〇〇-■■.csv	個別
5-02	道路の状況	調書1	道路の状況調書	c0502_report_1_〇〇-■■.csv	個別
		集計1	道路の状況集計表	c0502_sum_1_〇〇-■■.csv	区域単位
6-01	主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度	調書1	主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度	c0601_report_1_〇〇-■■.csv	区間別
6-02	自動車流動量	集計1	自動車流動量集計表	c0602_sum_1_〇〇-■■.csv	—
6-03	鉄道・路面電車等の状況	調書1	鉄道・路面電車等の状況調書	c0603_report_1_〇〇-■■.csv	—
6-04	バスの状況	調書1	乗降客調書	c0604_report_1_〇〇-■■.csv	個別
		調書2	運行状況調書	c0604_report_2_〇〇-■■.csv	個別
7-01	地価の状況	調書1	地価の状況調書	c0701_report_1_〇〇-■■.csv	地点別
		集計1	地価の状況集計表	c0701_sum_1_〇〇-■■.csv	区域単位
8-01	地形・水系・地質条件	CSVなし	—	作成しない	—
8-02	気象状況	調書1	気象状況調書	c0802_report_1_〇〇-■■.csv	地点別
8-03	緑の状況	集計1	緑の状況集計	c0803_sum_1_〇〇-■■.csv	市区町村別
8-04	動植物調査	CSVなし	—	作成しない	—
9-01	災害の発生状況	調書1	災害の発生状況水害（外水）調書	c0901_report_1_〇〇-■■.csv	個別
		調書2	災害の発生状況水害（内水）調書	c0901_report_2_〇〇-■■.csv	個別
		調書3	災害の発生状況土砂災害調書	c0901_report_3_〇〇-■■.csv	個別
9-02	防災施設の位置及び整備の状況	調書1	防災拠点・避難場所調書	c0902_report_1_〇〇-■■.csv	個別
10-01	観光の状況	調書1	宿泊容量メッシュ調書	c1001_report_1_〇〇-■■.csv	メッシュ単位
		集計1	観光目的入込客数・消費額	c1001_sum_1_〇〇-■■.csv	観光目的
		集計2	ビジネス目的宿泊施設の状況	c1001_sum_2_〇〇-■■.csv	年次別（ビジネス目的・宿泊施設の状況）
10-02	景観・歴史資源等の状況	調書1	景観・歴史資源等の状況調書	c1002_report_1_〇〇-■■.csv	個別
10-03	レクリエーション施設の状況	調書1	レクリエーション施設の状況調書	c1003_report_1_〇〇-■■.csv	個別
10-04	公害の発生状況	調書1	公害の発生状況調書	c1004_report_1_〇〇-■■.csv	個別

（２） 調書・集計表 共通仕様

・都市計画基礎調査の調書及び集計表は、CSV形式で作成する。

・様式（列の構成）は、県が準備するCSVファイル（以下「県CSV」）によるものとし、調査の実施や調査結果の入力の際には列の追加・削除・並べ替えを行わないこと。

・県CSVは、「都市計画基礎調査実施要領（第５版）」（令和５年６月、国土交通省都市局。以下「国要領」）及び「都市計画データ標準製品仕様書」（令和６年５月、国土交通省都市局。以下「国標準」）の定義を参考に県が作成した。

１　ファイル形式

項目	内容
文字コード	UTF-8（BOM付き）
改行コード	CRLF
区切り文字	半角カンマ（,）
文字列の引用符	文字列の値は半角ダブルクォート（"）で囲む。（※）都道府県コード、項目コード、市町村コード等の識別コードも文字列として扱い、数字のみで構成される場合を含めて同様に囲む。都道府県コード、項目コード、市町村コード、地区コード等の識別コードは文字列として扱い、先頭の0及び定められた桁数を保持する。 ※ただし、Excel等の表計算ソフトでの作業時など、文字列を囲む半角ダブルクォートの維持が難しい場合は、その省略を認める。
ヘッダー行	あり（３行）
空値の表し方	区切り文字を連続させる（,,）
１項目に複数の値を列挙する場合の区切り	半角セミコロン（;）
禁則文字	区切り文字として使用する半角セミコロン（;）は値に使用しない。
拡張子	.csv

２　ヘッダー行の構成

CSVの先頭３行はヘッダー行とし、４行目以降に調査結果を１件につき１行で記入する。

行	内容
１行目	都道府県コード, 市町村コード, データ項目（国要領又は本県独自のデータコード）, 表名称, 基準日 ※都道府県コードは「15」（新潟県）。市町村コードはGISデータ定義書【付録２】の令和7年国勢調査時点の市町村コードを用いる。 基準日はYYYY-MM-DD又はYYYY/MM/DD形式とする。
２行目	項目名（日本語）。県CSVの2行目の記載をそのまま用いること。
３行目	項目名コード（半角英数字）。県CSVの3行目の記載をそのまま用いる。 0101等の先頭0付きコードも含め、記載された文字列・桁数を保持する。
４行目以降	調査結果。１件につき１行。２行目・３行目の順序に従って入力。

［記入例］『 3-04 宅地開発状況　開発許可による調書（c0304_report_2.csv） 』

行	記入例
１行目	"15","15202","C0304","開発許可による宅地開発状況調書","2027-10-01",
２行目	"位置","事業主体コード","事業面積（㎡）","事業期間","主な用途","進捗状況","備考"
３行目	"id","prefDeveloperCode","area","projectPeriod","purpose","status","note"
４行目	"1","6",1234.56,"2026-04-01～2027-03-31","1","2",

３　ファイル名

成果データのファイル名は、次の構成とする。
［データ項目番号］_［調書・集計表の別］_［番号］_［作成年度-自治体名（または都市計画区域名）］.csv
（例）c0302_report_1_2027-niigata.csv

配布する県CSVのファイル名は以下の様式とする。末尾の「〇〇-■■」は、データ作成時に、作成年度（西暦4桁）及び自治体名（または都市計画区域名）に置き換える。
（例）c0302_report_1_〇〇-■■.csv

構成要素	内容
［データ項目番号］	半角小文字の「c」と半角数字４桁。国要領のデータコードによる（例：C0302→c0302）。 国要領に対応するコードがない本県独自の項目は、下表のコードによる。
［調書・集計表の別］	調書は「report」、集計表は「sum」。いずれも半角小文字。
［番号］	同一のデータ項目に複数の調書又は集計表がある場合に区別する半角数字。１種類のみの場合は「1」とする。
［作成年度-自治体名（または都市計画区域名）］	作成年度：４月１日から翌年３月31日までを１年度とし、その開始年を西暦４桁で記す。（例：2027年度→「2027」） 自治体名（または都市計画区域名）：自治体名又は都市計画区域名を半角英小文字のローマ字で記す（例：niigata）。 両者を半角ハイフン（-）で結ぶ。

［国要領に対応するコードがない本県独自の項目］

調査項目	データ項目番号
0-03　地区概要調書（ゾーン別）	c0003
0-04　地区別人口世帯調書（ゾーン別）	c0004
4-04　公共公益施設等分布状況	c0404

４　記入上の共通ルール

項目	内容
空値	数値項目の欠測値は空欄とする。CSVでは空欄の前後に区切り文字を置く（途中の空欄は「,,」）。コード項目の不明値は次項による。
コードによる項目	GISと共通のコード項目は「ＧＩＳデータ定義書」のコードリストに従う。CSVのみの項目及び集計表の列コードは、県CSVと本要領の個別記載に従う。 不明の場合は、該当するコードリストに定める「不明」のコードを用いる。
数値の単位	県CSVの項目名及び各調査項目の仕様に示す単位による。GISから転記・集計する場合は「ＧＩＳデータ定義書」の属性の単位を確認し、CSVの記入単位が異なる場合は換算する。単位記号は値に含めない。
年の表記	西暦４桁とする（例：2027）。
年月日の表記	県CSVの年月日欄はYYYY-MM-DD又はYYYY/M/Dとする。（例：2027-10-01、2027/10/1、2027/10/01）。西暦の年月日を記入する。
基準日	調査の基準日を１行目に記入する。

※CSVを表計算ソフト（Excel等）で編集する際の留意事項
表計算ソフト（Excel等）でCSVを編集する際は、巻末01「CSVをExcelで編集する際の留意事項」を参照すること。

５　提出

項目	内容
提出形式	CSVファイル。電子媒体又は県が指定する方法により提出する。
ファイルの単位	調書・集計表の１様式につき１ファイルとする。

６ 集計表の行見出しと列コード

項目	内容
行見出し（１列目）	２行目の項目名が「区域区分;年」のように半角セミコロンで結ばれている場合は、値も同じ順にセミコロンで結んで記入する。（例：行政区域;2023）
列コード（３行目）	3行目の列コードは、県CSVに記載した値による。0101等の先頭0付きコードも文字列として保持する。

７　調査項目別の留意事項

● 1-01　人口規模

小地域単位の調書はsmallAreaCodeをGISデータの属性「03_scode」に、メッシュ単位の調書はmeshCodeをGISデータの属性「03_mesh_cd」に対応させる。小地域コードは９桁又は11桁、1-01のメッシュは250m・10桁、1-06・2-02は500m・９桁とし、先頭の0を保持する。

● 3-02 土地利用現況

※１

低未利用土地は、市町村が地域の実情に応じて対象を設定する。独自に対象を設定しない場合、本県では「その他④（223）」と同じ範囲を低未利用土地として取り扱う。この場合、GISデータの属性「03_luse_cd」は223のままとし、集計表の低未利用土地の記入欄に同じ面積を記入する。

独自に対象を設定する場合は、GISでは「その他④（223）」と区別して「低未利用土地（224）」で記録・集計する。

地区別土地利用調書（c0302_report_1）の用途別面積はha単位で記入する。GISデータ上の面積が㎡単位の場合は10,000で除して換算する。

※２

可住地、非可住地及び低未利用土地は、不明を含まないものとし、内数として集計する。

● 3-04 宅地開発状況

市街地開発事業等の調書（c0304_report_1.csv）のid（位置）は、GISデータの属性「03_no」（図面対象番号）に対応させる。同一の事業が複数の図形に分かれる場合には共通の事業番号を割り当てる。当初決定・変更年月日を古い順に、同じidで複数行に記録する。

開発許可による調書（c0304_report_2.csv）のidもGISデータの属性「03_no」（図面対象番号）に対応させるが、上記の履歴を複数行で記録する取扱いは適用しない。

事業主体コード（prefDeveloperCode）は、GISデータの属性「05_dev_cd」（pg）又は「04_dev_cd」（pt）と同じコードを記入する。

● 3-05 農地転用状況

調書のidは、GISデータの属性「03_no」に対応させる。

区域区分（areaClass）、居住誘導区域への該当（inResidenceArea）、都市機能誘導区域への該当（inUrbanFunctionArea）は、それぞれGISデータの属性「04_area_cd」「05_reside」「06_urban」と同じコードを記入する。

● 4-01-1～4-01-7　建物利用現況

4-01-2～4-01-7の集計表は、4-01-1 GISデータ上の各属性の値を元に作成する。階数は「04_floor1」・「05_floor2」、構造は「06_stru_cd」、面積は「07_barea」・「08_tarea」、建築年は「09_year」、耐火構造種別は「10_fire_cd」、高さは「11_height」を集計時に区分する。

- 用途別・建築年別集計の列コード

用途別・建築年別の小地域別集計は、棟数・建築面積・延床面積をそれぞれ別々のCSVに記入する。区域別集計は、同一CSVの棟数・建築面積・延床面積の各列に記入する。

用途別及び建築年別の列コードは、国要領の区分コードの末尾に指標コード（１＝棟数、２＝建築面積、３＝延床面積）を付ける。（例：「業務施設」（401）の建築面積の列コードは4012）

なお、耐火構造種別（1001～）・高さ（1101～）等の列コードは、県CSVに記載された国要領の区分コードを用いる。

- 空家等の集計

空家等は、GISデータの属性「12_vacancy」に該当「1」、非該当「0」を入力し、「03_use_cd」には本来の用途を保持する。CSVの空家等の区分（471）は用途別の内数として集計する。用途分類の合計に空家等を重ねて加算しない。

● 5-01 都市施設の位置、内容等

調書（c0501_report_1.csv）のid（位置）は、GISデータの属性「03_no」（図面対象番号）に対応させる。同一施設が複数図形に分かれる場合も共通の施設番号とし、当初決定・変更年月日を古い順に、同じidで複数行に記録する。

● 7-01 地価の状況

地価の状況調書（c0701_report_1.csv）には、次の２列を設ける。

「前面道路の駅前状況」（stationSquare）、「交通施設との近接状況」（transportationFacilities）。

両列は国要領の調書様式では定義されていないものの、国標準で定義された項目である。情報を把握できない場合は空欄とする。

地価（landPrice）はGISデータの属性「06_price」と同じ単位とし、通常は円/㎡、林地は円/10aで記入する。平均地価の集計に当たっては、林地の地価を1,000で除して円／㎡に換算した上で集計する。

● 8-03 緑の状況

「緑被地」は樹林地（１）・草地（２）・農地（３）の合計とし、水面（４）を含めない。